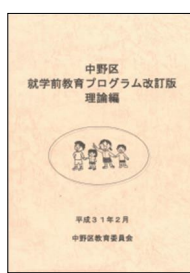


連携教育通信

<令和7年度 就学前教育推進の取組について>

令和7年度がスタートいたしました。
今年度も保幼小中連携教育に関する様々な取組を「連携教育通信」を通して皆様にお知らせしていきます。
よろしくお願いいたします。

保育園と幼稚園と小学校の連絡協議会	6月10日(火)第1・第3ブロック 6月17日(火)第2・第4ブロック 実施予定
-------------------	---



- ・中野区就学前教育
プログラム改訂版
<実践編><理論編>
・概要版リーフレット



「中野区就学前教育プログラム改訂版」は、乳幼児期の子どもに生きる力の基礎を培うために、発達や学びの連続性を考慮しながら、0歳児から5歳児の発達に応じて経験させたい内容を明らかにするとともに、具体的な指導方法を明示したものです。

就学前教育・保育施設、区立小学校20校、区立中学校9校、関係各所に配布しております。
ぜひご活用ください。また概要版リーフレットは、卒園前に区内全教育・保育施設年長児のご家庭にも配布しています。

中野区合同研究会

区内の乳幼児教育関連施設に勤務する教職員・保育者が、公私立幼稚園、公私立保育園、認定こども園小規模保育事業所、認証保育所等の枠を超え、共同して乳幼児の教育・保育の質の向上を目指し、実践的な課題について学識経験者等の助言を得ながら研究に取り組んでいます。

～今年度の取組予定～

「教育・保育部会」と「運動遊び部会」の2部会でそれぞれ年間5回行います。

- 教育・保育部会：「子どもたちが自発的に関わりたくなる環境を考える」 小山朝子先生（和洋女子大学）
- 運動遊び部会：「就学前に経験したい運動遊び～レクリエーション～」 鈴木邦明先生（帝京平成大学）

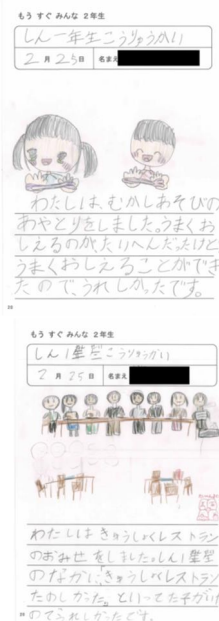
中野区では、就学前教育・保育施設、小学校、中学校の連携を強化し、幼児期から中学校までの15年間を見通した学びの連続性（カリキュラム連携など）を踏まえた教育を展開しています。

昨年度3月まで小学生と幼稚園・保育園児交流を実施いたしました。ご紹介しきれなかった交流の様子をお知らせ致します。取組を知っていただければと思います。

北原小学校

体育館で行われました。コーナーが設定されて、時間を決めて就学前施設の数人のグループが各コーナーを回ります。コーナーは学校案内・読み聞かせ・昔遊び・演奏会・折り紙・給食体験です。給食体験では、給食の準備や流れの説明の後に、児童手作りの紙の給食が白衣着用の給食当番がトレーで運んで来て、席に付いた園児が食べる真似をします。他に演奏会では、児童の鍵盤ハーモニカの演奏に合わせて園児が鈴やタンバリンで体験する等、楽しい取り組みがいっぱいでした。

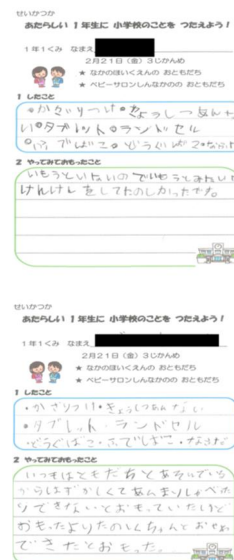
後日、小学校の振り返りの用紙をいただきました。当日の楽しい様子が伝わってきて、また参加していた園からも「給食ってやることいっぱいあるんだね。でも早く食べてみたいな。」「学校っていろんな教室があって楽しそう。」「早く1年生になりたい！」と感想をいただきました。1年生も園児も交流当日を経験した後に振り返って次に向けて踏み出した様子が伝わってきました。



中野本郷小学校

1年生の教室で園児1名に1年生が1名ずつ付き交流がスタートしました。名札をつけることから始まり、はじめのことば・学校案内・身の回りの物の紹介・名札を外し、おわりのことばと進みました。驚いたのは、学校案内で、1年生それぞれが主体的に自分の伝えたいことばで、学校を案内していました。教室に戻ってからは、タブレットに触れたり、ランドセルを背負ってみたりしてもうすぐ1年生を実感した園児が多かったようです。

後日、1年生の振り返り用紙と園の感想をいただきました。1年生は自分で考えやってみたことの自信と園児の反応を喜んでいたことが伝わってきます。園児は、1年生のその姿を目の当たりにして「1年生ってすごいんだね」と憧れの気持ち大きくなりました。引率していた園の職員も保育園児から小学生の1年の成長に、日頃の自主性を大切にする保育が小学校でも繋がっていて、保育の振り返りもできたそうです。



美鳩小学校

1年生が初めて自分たちで計画する大きな機会になった会だそうです。“1年生になりたいな”

“小学校って楽しいな”と園児が思ってくれるように、という願いを持つところから始めたそうです。グループで発表するのも、持ち物を見せるのもランドセルを背負わせてあげるもの、自信を持って関わっていたので、それが園児にも伝わりとても楽しそうでした。

みんなで「猛獣狩りに行こう」を踊ったり、宝探しをしたりして時間があっという間に過ぎていったように思います。園児が質問した「どうして靴のまま教室に入っているの？」には、みんなでも考えても答えが出ず、後で校長先生に聞きに行こうという微笑ましい場面もありました。

園児を校門の所まで送ってアーチを作り、園児の姿が見えなくなるまで手を振って、園児もそれに答えてジャンプしながら手を振っていました。その姿はお互いに自信にあふれた1年生と2年生でした。



江古田小学校

小学生と園児を数名ずつ組み合わせたグループに分かれて交流していました。グループごとに遊びを考えて進めていました。授業で作った「ことばカード」(絵付)を使ってお店屋さんごっこ風にしたり、ことば遊びゲームにしたりして、それぞれのグループの工夫が見られました。他にもけん玉やぬり絵、ランドセル体験等、いろいろな経験ができ45分間があったという間だったようです。

園児は目をキラキラ輝かせて1年生の説明を聞いていました。



中野第一小学校

1年生が各クラスで交流会を行ってくれました。教室で、園児を席につかせてくれて授業の紹介・音読・学校案内(映像)・係紹介、その後で校内を探索していました。

1年生が班に分かれて発表してくれたことを園でも少人数のグループで1つの事を成し遂げる経験をしているので、園児が見通しをもてたとの感想をいただきました。他の小学校も見学していた園児からは、学校の大きさ、教室の広さ等、驚きの声が聞かれました。

卒園児が多数いる園では、顔見知りの小学生がいることで心強く感じていたそうです。引率の職員は、卒園児の成長した姿も目の当たりにできて喜んでいました。



啓明小学校

交流会を複数日開催くださった最終日でした。6か所のコーナー「英語・運動・ジャンケン列車・工作・塗り絵・読み聞かせ・クイズ」を数分ずつ回りました。次のコーナーに移動する時間になると、次の場所まで案内してくれたのでとてもわかりやすかったです。

英語のコーナーではALTの方も参加してくださり、英語の歌に合わせて踊りました。

卒園した園の顔見知りの園児や保育士が来ることで1年生はとてもはりきっていました。

たくさんの楽しい経験をした園児は、帰園後「1年生はたくさんいたね。ありがとうを伝えたい」とお手紙や折り紙での制作に取り組んでいたそうです。卒園までに届けられたようですよ。

